

◆日本研究の幅広い分野に焦点を当てたハンドブックシリーズ

# 日本研究ハンドブックシリーズ Japan Documents Handbooks Series

人文科学・社会科学分野における日本研究を英語で世界中に発信

Japan Documents Publishing は、欧米の学術情報の輸入専門商社である株式会社 MHM のインプリントです。MHM は、日本の学術洋書輸入における豊富な実績をもとに、レベルの高い英語での日本研究の出版に特化するために、Japan Documents Publishing を設立しました。出版される刊行物は日本の国内市場における販売にとどまらず、欧米の優れた大学出版局との関係を活かした海外市場への販売も展望しております。日本人の研究者による編集や寄稿を重要な方針のひとつとしており、我が国を代表する研究者はもとより、若い研究者の方々や実務家などの幅広い層の研究者が参加していることが特徴となります。また、日本国内外で日本に関する研究に従事されている外国人研究者の方々にも積極的に関与していただいております。

今回企画された **Japan Documents Handbooks Series** は、学術上の様々な分野における「日本研究」に焦点を当て、世界中の学術市場に向け、東京から英語で出版いたします。特に人文科学と社会科学分野を中心に、年平均6タイトルの刊行を予定しており、各巻にはトピックのさまざまな側面について新しく書かれた 8,000 語程度の査読を受けた論文を平均20本収録し、研究者や学生の役に立つ最新の情報を集めたハンドブックを提供して参ります。



The Japan Documents Publishing Handbook Series focuses on the broad field of Japanese Studies, aimed at the worldwide English language scholarly market, published in Tokyo in English. The aim is to publish an average of six such peer-reviewed volumes per annum. Each Handbook will contain an average of 20 newly written contributions on various aspects of the topic, which together will comprise an up-to-date survey of use to scholars and students. The focus will be on Humanities and Social Sciences. Each Handbook will be published in print and digital editions simultaneously, both in Japan and in North America and Europe.



詳細お問い合わせは弊社までお申し付けください

日本総代理店 **極東書店**



## 【Japan Documents Handbooks Series:タイトルご案内】

### <既刊:好評発売中!!>

#### ◆日本の高等教育に関する 25 の論考を集めたハンドブック

##### 日本の高等教育ハンドブック

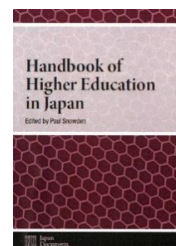
Snowden, Paul (ed.),

Handbook of Higher Education in Japan. (Japan Documents Handbooks Series) 446 pp.

2021 (Japan Documents, JA) <001-17947>

ISBN 978-4-909286-00-0

hard ¥28,875.- (税込)



Japan Documents のハンドブックシリーズ第 1 作目となる本書は、日本の高等教育の成り立ちと経緯、そして今後の展望を 25 章からなる論文で紹介していきます。執筆陣は、教育学界の権威から、注目の中堅・若手の研究者まで多彩に取り揃え、多様なテーマについて最新の知識と情報を提供します。各章では、「国公立」と「私立」でそれぞれの施策の違いに注目しつつ、国際化、学生招致、学部の流動性などの重要項目について論じています。全編において豊富な参考文献を駆使していますが、従来の概観に倣う部分と、新奇でやや挑発的な意見や提言が盛り込まれている部分とがあり、それが本書の魅力となっています。

日本の高等教育についての格好の入門書であり、教育学だけでなく、日本に興味のある研究者にとっても、簡潔な情報を提供してくれる良質のハンドブックです。

#### ◆近現代日本の儒教に関する 13 の論考を集めたハンドブック

##### 近現代日本の儒教ハンドブック

O'Dwyer, Shaun (ed.),

Handbook of Confucianism in Modern Japan. (Japan Documents Handbooks Series) 300 pp.

2022 (Japan Documents, JA) <100-5825>

ISBN 978-4-909286-08-6

hard ¥28,875.- (税込)



儒教の近現代の系譜学への主流派の評価には、中国中心主義的なバイアスが存在しています。それは戦後期の政治哲学者・道徳哲学者・思想家によって近現代日本の儒教が無視されていることに起因しています。

本書は 19 世紀半ばから 21 世紀までの近現代日本の儒教をカバーした論文集です。本書に収録されている論考は、近代化・帝国主義的拡大・1945 年以降の自由民主主義的政体としての再構成といった日本の重要な段階における、儒教思想を再構築した改革者・教育者・哲学者の思想的・イデオロギー的傾向などを考察しています。また、その著作が日本国外にはほとんど知られておらず、日本国内でかろうじて記憶されているような近現代の儒教思想家・改革者の入門書としても有用な 1 冊です。

本書を宗教学、儒教、近現代日本に関心を持つ研究者・研究室にお薦めいたします。

#### ◆日本のメディアと大衆文化を多様なジャンルから読み解くハンドブック

##### 転換期の日本のメディアと大衆文化ハンドブック

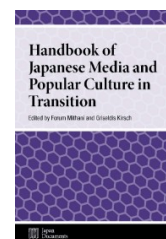
Mithani, Forum / Kirsch, Griseldis (eds.),

Handbook of Japanese Media and Popular Culture in Transition.

(Japan Documents Handbooks Series) 2022 (Japan Documents, JA) <251-39201>

ISBN 978-4-909286-04-8

hard ¥28,875.- (税込)



本書は大衆メディアの現象への新しい研究と視点、及びこれまであまり研究されてこなかったテキストにスポットライトを当てる論考を集めたハンドブックです。「歴史の再想像」「転換と異文化間のフロー」「フランチャイズとフォーマット」「ジェンダーとメディア」「オーディエンスとユーザー」の全 5 部で構成されており、現代の映画やテレビ、戦後の映画、広告、大衆小説、男性誌、漫画やアニメ、カラオケやデジタルメディアなど多様な文化的ジャンルを論じています。

歴史の政治化、信頼性と表現、アイデンティティの構築、トラウマと社会不信、交差性と（トランス）ナショナリズムといった、現代日本社会にとって重要な問題を考察した本書を、日本研究、メディア、カルチュラル・スタディーズ、大衆文化に関心を持つ研究者・研究室にお薦めいたします。

◆遠藤周作ら日本のキリスト教作家に関する 17 の論考を収録

**M.ウィリアムズ、V.ゲッセル、山根道公編 日本のキリスト教作家ハンドブック**

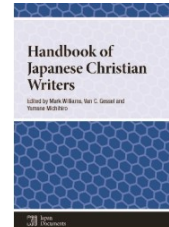
Williams, Mark / Gessel, Van / Yamane, Michihiro (eds.),

Handbook of Japanese Christian Writers. (Japan Documents Handbooks Series)

2022 (Japan Documents, JA) <251-39202>

ISBN 978-4-909286-10-9

hard ¥28,875.- (税込)



日本におけるキリスト教への改宗は 150 年かけて人口のわずか 1%ほどにとどまっています。一方で洗礼を受けた、あるいはキリスト教の教えに大いに影響を受けた作家の割合は、それよりはるかに高いと言えます。

本書は北村透谷、島崎藤村、有島武郎、芥川龍之介、八木重吉、堀辰雄、永井隆、太宰治、椎名麟三、島尾敏雄、安岡章太郎、三浦綾子、遠藤周作、小川国夫、加賀乙彦、曾野綾子、高橋たか子といったキリスト教の教えに影響を受けた作家・小説家に関する論考を集めたハンドブックです。各論考は、こうした作家たちのキリスト教の教えに影響を受けた著作に用いられたテーマや比喩を考察しています。

**【Editors】**

**Mark Williams** is Vice President at International Christian University in Tokyo.

**Van C. Gessel** is Professor Emeritus of Japanese at Brigham Young University

**【Contributors】**

**Michael Brownstein**, University of Notre Dame; **Kevin M. Doak**, Georgetown University;

**Philip Gabriel**, University of Arizona; **Van C. Gessel**, Professor Emeritus, Brigham Young University; **Anthony Haynes**; **Irina Holca**, University of Tokyo; **Imai Mari**, Literary critic;

**Miyasaka Satoru**, Professor Emeritus, Ferris University; **Leith Morton**, Professor Emeritus, Tokyo Institute of Technology; **Nagahama Takuma**, Kyoto University of Foreign Studies; **Ryota Sakurai**, PhD student, International Christian University; **Sekino Miho**, Toho Junior and Senior High School;

**Massimiliano Tomasi**, Western Washington University; **Mark Williams**, International Christian University; **Yamane Ibuki**, PhD candidate, the University of Tokyo; **Yamane Michihiro**, Notre Dame

Seishin Women's University

◆19 世紀末から現代までの日本の女性作家を包括的に概観した

**R.コーブランド編 近現代日本の女性作家ハンドブック**

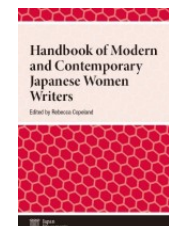
Copeland, Rebecca (ed.),

Handbook of Modern and Contemporary Japanese Women Writers.

(Japan Documents Handbooks Series) 2022 (Japan Documents, JA) <100-5884>

ISBN 978-4-909286-16-1

hard ¥28,875.- (税込)



本書は 19 世紀末から 21 世紀初頭までの日本の女性作家に関する包括的概観を提供するハンドブックです。北米、欧州、日本、オーストラリアの研究者による 24 の論考から成る本書は、共通のテーマ、比喩、ジャンルで大まかにまとめた近現代の女性作家による著作を紹介し分析しています。

樋口一葉や与謝野晶子から、野上弥生子、吉屋信子、佐多稲子、林芙美子、尾崎翠、円地文子、倉橋由美子、大庭みな子、高橋たか子、津島佑子、林真理子、吉本ばなな、湊かなえ、村田沙耶香、金原ひとみなど、近現代日本文学史を彩った女性作家たちを考察した論考を収録しています。

**【Editor】**

**Rebecca Copeland**, professor of modern Japanese literature at Washington University in St. Louis;

**【Contributors】**

**Tomoko Aoyama**, The University of Queensland; **Quillon Arkenstone**; **Pedro Thiago Ramos Bassoe**, Purdue University; **Davinder L. Bhowmik**, University of Washington; **Julia C. Bullock**, Emory University

in Atlanta; **Luciana Cardi**, Kansai University; **Sohyun Chun**, Nagoya University; **Rachel DiNitto**, University of Oregon; **Hiromi Tsuchiya Dollase**, Vassar College; **Lucy Fraser**; The University of Queensland; **Susan Westhafer Furukawa**, Beloit College; **Kazue Harada**, Miami University Ohio;

**Barbara Hartley**, University of Queensland; **David S. Holloway**, University of Rochester;

**Noriko J. Horiguchi**, University of Tennessee; **Emily Levine**, Washington University in St. Louis;

**Jon L. Pitt**, University of California, Irvine; **Amanda C. Seaman**, University of Massachusetts Amherst;

**Lianying Shan**, Gustavus Adolphus College; **Anna Specchio**, University of Turin;

**Michiko Suzuki**, University of California, Davis; **Nozomi Uematsu**, University of Sheffield;

**Christina Yi**, University of British Columbia; **Hitomi Yoshio**, Waseda University

## <2023年3月刊行 好評発売中!!>

### ◆激動の戦後に対する新たな理解を提供するハンドブックが刊行 S.アヴェネル編 戦後日本史再考ーハンドブック

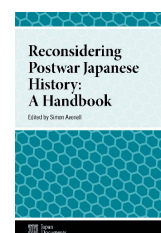
Avenell, Simon (ed.),

Reconsidering Postwar Japanese History: A Handbook.

(Japan Documents Handbooks Series) 2023 (Japan Documents, JA) <100-5885>

ISBN 978-4-909286-20-8

hard ¥28,875.- (税込)



1945年の敗戦の後、日本は歴史的な政治・経済・社会的転換を経験しました。本書は日本現代史におけるこの激動の時代の理解を拡張し、強化するハンドブックです。新たな理論的問題を提起し、この時代へのフレッシュな実証的視点を提供しています。

第1部「戦後の起源」、第2部「政治的戦後」、第3部「戦後の文化と社会」、第4部「トランスナショナルな戦後」、第5部「アジアと世界における日本の戦後」、第6部「戦後時代の定義・説明・歴史化・年表化」の全6部から構成され、20の論考が収録されています。

本書を歴史学、日本史、戦後史に関心をもつ研究者・研究室に必備のハンドブックとしてお薦めいたします。

#### 【Editor】

**Simon Avenell** is professor at the Australian National University. He specializes in modern Japanese history, with a particular interest in civil society, social activism, and the history of ideas in postwar Japan. His latest book, *Asia and Postwar Japan: Deimperialization, Civic Activism, and National Identity*, was published by Harvard University Press in 2022.

#### 【Contributors】

**Simon Avenell**, Professor, Australian National University;

**James Babb**, Professor, The University of Tokyo;

**Janet Borland**, Assistant Professor, International Christian University;

**Adam Bronson**, Lecturer, Durham University;

**Julia Bullock**, Professor, Emory University;

**Simon James Bytheway**, Professor, Nihon University;

**Peter Cave**, Senior Lecturer, University of Manchester;

**Deokhyo Choi**, Lecturer, University of Sheffield;

**Katarzyna Cwiertka**, Professor, Leiden University;

**H. D. P. (David) Envall**, Senior Lecturer, Australian National University;

**Luke Franks**, Associate Professor, North Central College;

**Kimie Hara**, Professor, University of Waterloo;

**Aya Homei**, Lecturer, University of Manchester;

**Seong Un Kim**, Assistant Professor, Seoul National University;

**Helen Macnaughtan**, Senior Lecturer, SOAS University of London;

**Emily Chapman**, SOAS University of London;

**Akiko Naono**, Associate Professor, Kyoto University;

**Eiji Oguma**, Professor, Keio University SFC;

**Philip Seaton**, Professor, Tokyo University of Foreign Studies;

**Eiko Maruko Siniawer**, Professor, Williams College;

**Rebecca Suter**, Associate Professor, University of Oslo;

## <2023年4月刊行 好評発売中!!>

◆日本の環境史を考察する16の論考を収録したハンドブックが刊行  
藤原辰史編 日本の環境史ハンドブック

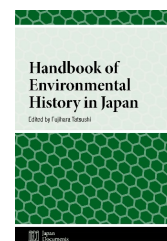
Fujihara, Tatsushi (ed.),

Handbook of Environmental History in Japan. (Japan Documents Handbooks Series)

2023 (Japan Documents, JA) <100-5887>

ISBN 978-4-909286-14-7

hard ¥28,875.- (税込)



日本は火山や地震、台風に悩まされながらも、あらゆる種類の農業や林業に適した気候に恵まれた土地であると言えます。また、海流がぶつかる位置にあり、豊富な海洋資源をもたらす地でもあります。日本はわずか数十年で、産業社会以前の農業社会から世界有数の経済大国に移行しましたが、一方で水や大気、土地を汚染し、多くの人々に苦難をもたらしました。また過去には、近隣諸国を植民地化し、戦争や破壊を引き起こし、そして歴史上初めて、核による荒廃を経験した国でもあります。

本書は日本の環境史を批判的に考察するハンドブックです。第1部「環境史のトポロジー」、第2部「汚染事故/災害」、第3部「自然と人間の間」、第4部「海、湖、沿岸」、第5部「森林」の全5部より構成されています。

本書を歴史学、日本史、環境史に関心をもつ研究者・研究室に必備のハンドブックとしてお勧めいたします。

### 【Editor】

**Fujihara Tatsushi** is Associate Professor at the Institute for Research in Humanities, Kyoto University. His main research field is the modern history of food and agriculture in Germany and Japan. His published works in Japanese include *History of the Kitchen in Modern Germany* (2012), *Rice Breeding in the Japanese Empire* (2012), and *Philosophy of Decomposition* (2019). His works in English include “Erbhofgesetz in Manchukuo: A case study of the acceptance of Nazi agricultural ideology by the Japanese Empire,” in L. Fernández Prieto, J. Pan-Montojo, and M. Cabo (eds.), *Agriculture in the Age of Fascism* (Brepols, 2014) and “Colonial Seeds, Imperialist Genes: Hōrai Rice and Agricultural Development,” in Hiromi Mizuno, Aaron S. Moore, and John DiMoiaw (eds.), *Engineering Asia: Technology, Colonial Development and the Cold War Order* (Bloomsbury Publishing, 2018).

### 【Contributors】

**Aoki Soko**, Associate Professor of Environmental Sociology, Graduate School Faculty of Arts and Letters, Tohoku University;

**Fujihara Tatsushi**, Associate Professor at the Institute for Research in Humanities, Kyoto University;

**Hashimoto Michinori**, Museum Curator, Shiga Prefectural Lake Biwa Museum;

**John Hayashi**, PhD Candidate in History at Harvard University;

**Kobori Satoru**, Associate Professor at the Institute for Research in Humanities, Kyoto University;

**Komeie Taisaku**, Professor in Geography, Department of Geography, Graduate School of Letters, Kyoto University;

**Kozai Toyoko**, Professor of Sociology at Bukkyo University in Kyoto;

**Yuka Tsuchiya Moriguchi**, Professor in American History, Graduate School of Human and Environmental Studies, Kyoto University;

**Nakao Maika**, Associate Professor in the History of Science at Hiroshima University;

**Nakashima Koji**, Professor at the Faculty of Human Sciences, Institute of Human and Social Sciences, Kanazawa University;

**Nishimura Takahiro**, LLD, Professor of legal history at the Law Faculty, Meijo University;

**Cyrian Pitteloud** is a graduate of the University of Geneva, where he completed his doctorate in Japanese studies;

**Seki Reiko**, Professor in the Department of Contemporary Culture and Society, College of Sociology, Rikkyo University;

**Takemoto Taro**, Senior Assistant Professor at Tokyo University of Agriculture and Technology;

**Uesugi Kazuhiro**, PhD, Associate Professor of historical geography at the Department of History, Faculty of Letters, Kyoto Prefectural University;

**Yuzawa Noriko** Professor at the Faculty of Sustainability Studies at Hosei University.

## <2023年6月刊行 好評発売中!!>

### ◆日本国憲法への注釈及びその解釈や理論を網羅したハンドブック C.P.A.ジョーンズ編 注釈付き日本国憲法—ハンドブック

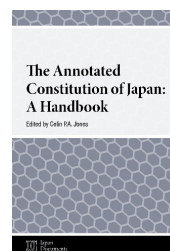
Jones, Colin P. A. (ed.),

The Annotated Constitution of Japan: A Handbook. (Japan Documents Handbooks Series)

2023 (Japan Documents, JA) <100-5886>

ISBN 978-4-909286-18-5

hard ¥28,875.- (税込)



1946年に公布され1947年に施行された日本国憲法は、これまで多くの研究者によって研究されてきました。また、今日では憲法改正に関する議論が盛んにおこなわれており、社会や政治に大きな影響を与えています。

本書は日本国憲法全体に英語でアクセスを可能にした初めてのハンドブックです。本書はいかに憲法が制定されたかということについての歴史的・コンテクスト的概観や、テキストの意味、解釈の論争、学術理論、主要判例といった全103条の説明で構成されています。また本書では日本国憲法の英語版と日本語版の間の多くの捉えにくい差異を指摘しています。

本書を法学、日本の法制度、憲法に関心を持つ研究室・研究者にお勧めいたします。

#### 【Editor】

**Colin P.A. Jones** is a professor at Doshisha University Law School in Kyoto. A graduate of U.C. Berkeley, he did graduate work at Tohoku University (LL.M.) and Duke Law School (J.D., LL.M.). He is also a practicing lawyer admitted in New York and the Republic of Palau (inactive status) and sits on corporate boards. Colin has published widely in both Japanese and English, with a particular focus on Japanese law. His books include *The Japanese Legal System* and *The Japanese Legal System in a Nutshell* (both from West Academic and co-authored with Frank Ravitch) and *Obey, Not Know: Essays in Japanese Law and Society* (Kurodahan Press), which is based on his long-running column “Law of the Land” in *The Japan Times*. He also offers commentary on law in Japan on Twitter.

#### 【Contributors】

**Giorgio Fabio Colombo**, Nagoya University Graduate School of Law and “Ca’ Foscari” University of Venice, Italy;

**Tōru Enoki**, Senshu University;

**Koji Higashikawa**, Kanazawa University;

**Mari Hirayama**, Hakuoh University in Tochigi, Japan;

**Mark Levin**, Pacific and Asian Legal Studies Program at the William S. Richardson School of Law, and Director of the University of Hawai‘i at Mānoa Center for Japanese Studies;

**Shigenori Matsui**, University of British Columbia, Peter A. Allard School of Law;

**Tetsuji Matsumoto**, Doshisha University Law School;

**Sean McGinty**, Nagoya University Graduate School of Law;

**Andrea Ortolani**, University of Tsukuba;

**Kayoko Oshima**, Graduate School of Policy and Management at Doshisha University;

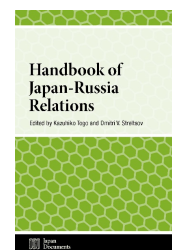
**Frank S. Ravitch**, Michigan State University College of Law;

**Yuichiro Tsuji**, Meiji University Graduate School of Law.

<2023年10月刊行 好評発売中!!>

◆日本とロシアの複雑な関係とその歴史を考察するハンドブック  
東郷和彦、D.V.ストレルツォフ編 日露関係ハンドブック

Togo, Kazuhiko / Streltsov, Dmitri V. (eds.),  
Handbook of Japan-Russia Relations. (Japan Documents Handbooks Series) 400 pp.  
2023 (Japan Documents, JA) <100-6351>  
ISBN 978-4-909286-34-5 hard ¥28,875 (税込)



日本とロシアの間の公式な関係の歴史は 150 年ほどにすぎませんが、非公式なものも含めればその二倍もの長さをさかのぼることができます。しかし日本とロシア两国にとって、二つの国の関係は外交政策の重要な要素となるものではなく、両国の外交戦略にとって必須、あるいは本質的に重要なものではありませんでした。また、日本とロシアは敵であり、ライバルであり、競争相手であったことがほとんどだったことも注目すべき点です。両者にとって、二国間の関係の重要性は多くの場合においてそれらの地理的的近接性によって決められていました。この地理的に運命づけられた関係性は「遠い隣人」として特徴づけられます。同時に、特定の歴史的局面では、この近隣性がそんなに「離れていなかった」のです。両国が経済的領域において関係をなんとか確立しようとする一方で、ツーリズムや文化的・科学的・教育的なつながりは盛んに発展していました。こうした 300 年間の日本とロシアの関係の複雑性は考察に値します。

本書はこの関係性の本質的な要素を見落とさないように、この 3 世紀にわたる日本とロシアの関係を分析したハンドブックです。第 1 部「戦争と平和—外交関係と安全保障」、第 2 部「領土」、第 3 部「経済とエネルギー」、第 4 部「災害に関する協力」、第 5 部「文化」、第 6 部「他者の知覚」、第 7 部「国際関係と外交—米国と中国の役割」の全 7 部・20 の論考より構成されています。本書を日本研究、国際関係、日露関係、日露関係系に関心を持つ方にお勧めいたします。

【Editors】

**Kazuhiko Togo** (PhD 2009, Leiden University) is Visiting Professor, Global Center for Asian and Regional Research, University of Shizuoka. He joined the Japanese Ministry of Foreign Affairs in 1968. Half of his career was directly related to Russia: three times service at the Embassy of Japan in Moscow; Director of the Soviet Union Division; Director General of Treaties Bureau; and Director General of European Affairs. He retired as Ambassador to the Netherlands in 2002. Following his retirement from the foreign service, he first taught in universities outside of Japan, including Leiden University and Princeton University. He served as Professor and Director of the Institute for World Affairs, Kyoto Sangyo University from 2010 to 2020. His research interests include international politics, Japanese foreign-security policy in East Asia, and identity and civilizational dialogue. His publication includes *The Inside Story of the Negotiations on the Northern Territory* (Shinchosha, 2007, in Japanese); *Japan's Foreign Policy 1945-2009* (Brill, 2010, in English); *Japan and Russia: Comparative Analysis of Historical Identity* (co-edited with Alexander Panov, University of Tokyo Press, 2016, in Japanese and *International Relations in Russian*).

**Dmitry Streltsov** is the Head of the Department of Oriental Studies, MGIMO University, and the Leading Research Fellow, the Institute of China and Contemporary Asia, Russian Academy of Sciences. Since 2008, he heads the Russian Association of Japanologists and is Editor-in-Chief of the “Yearbook Japan” and the e-journal “Japanese Studies in Russia.” His main research field is the domestic politics and diplomacy of contemporary Japan. The author of more than 300 academic works, including eight individual monographs published in Russian including *Japan as Green Superpower* (MGIMO-University Pb, 2012), *Foreign Policy Priorities of Japan in the Asia Pacific* (Vostochnaya literatura, 2015) and *The System of 1955* (Vostochnaya literatura, 2019) etc. He contributed two chapters and was the coeditor of *A History of Russo-Japanese Relations. Over Two Centuries of Cooperation and Competition* (Brill, 2019).

【Contributors】

**James D.J. Brown**, Temple University, Japan Campus; **Alexander Bukh**, Victoria University of Wellington, New Zealand; **Kenji Horiuchi**, University of Shizuoka; **Olga A. Ignatjeva**, St. Petersburg State University; **Anna A. Kireeva**, Moscow State Institute of International Relations (MGIMO University); **Yu Koizumi**, University of Tokyo; **Natasha Kuhrt**, King's College London; **Marina G. Mazitova**, Economic Research Institute, Far Eastern Branch, Russian Academy of Sciences at Khabarovsk; **Pavel A. Minakir**, Economic Research Institute, Far Eastern Branch, Russian Academy of Sciences at Khabarovsk; **Vassili Molodiakov**, Takushoku University; **Vladimir V. Nelidov**, Institute of Oriental Studies of the Russian Academy of Sciences; **Ryo Omatsu**, Center for Sustainable Development Studies, Toyo University; **Alexander N. Panov**, Institute of the USA and CANADA & Moscow State Institute of International Relations; **Elena Shadrina**, Waseda University; **Nobuo Shimotomai**, Professor of Emeritus, Hosei University; **Leonid V. Smorgunov**, St. Petersburg State University; **Shinichiro Tabata**, Professor Emeritus, Hokkaido University; **Hiroshi Yamazoe**, National Institute for Defense Studies (NIDS), Ministry of Defense, Japan; **Takayuki Yokota-Murakami**, Osaka University.

## <最新刊:2023年12月刊行 好評発売中!!>

◆関心高まる日本の安全保障に関するハンドブックが刊行!!

L.ブシンスキ編 日本の安全保障ハンドブック

A Buszynski, Leszek (ed.), Handbook of Japanese Security.  
(Japan Documents Handbooks Series) 419 pp.

2023 (Japan Documents, JA) <708-783>

ISBN 978-4-909286-56-7

hard ¥28,875 (税込)



日本は西太平洋だけでなく、より広範なインド太平洋においても重要な位置を占めるようになりました。その一方で日本は、国内政治を変え、平和憲法の妥当性に関する議論を引き起こしている困難な安全保障環境と特定の脅威に直面しています。北朝鮮の核兵器やミサイルのテスト、南シナ海等における中国の圧力、そして台湾をめぐる中国の好戦的態度などは、日本人に不安定性と紛争という懸念をもたらしています。ロシアのウクライナ侵攻は日本に、中国も同様に武力を行使するかもしれないという警告となったのです。

本書は国内外の専門家によって記された、日本の安全保障に関する21の論考を収録したハンドブックです。平和憲法、自衛隊や海上自衛隊、サイバーセキュリティ、アメリカとの同盟、インドやオーストラリアとの関係等について論じています。

本書を日本研究、日本政治、アジア政治、国際政治、安全保障問題に関心を持つ方にお勧めいたします。

### 【Editor】

**Leszek Buszynski** is an Honorary Professor with the Strategic and Defence Studies Centre at the Australian National University, Canberra Australia. He has written extensively on Asia Pacific security issues and was co-editor (with Do Thanh Hai) of *Maritime Issues and Regional Order in the Indo-Pacific* (Palgrave Macmillan, 2021), and (also with Do Thanh Hai) of *The South China Sea: From Regional Maritime Dispute to Geostategic Competition* (Routledge, 2020). He was the sole author of *Geopolitics and the Western Pacific: China, Japan and the United States* (Routledge, 2019).

### 【Contributors】

**David Arase**, Johns Hopkins University, School of Advanced International Studies, the Johns Hopkins -Nanjing Center in Nanjing, China;

**Benjamin Ascione**, Waseda University, Tokyo;

**Lindsay Black**, Leiden University Institute for Area Studies (LIAS) in the Netherlands;

**H. D. P. Envall**, Coral Bell School of Asia Pacific Affairs at The Australian National University;

**Tamotsu Fukuda**, Toyo Eiwa University, Tokyo;

**Ryo Hinata-Yamaguchi**, University of Tokyo;

**Purnendra Jain**, University of Adelaide, Australia;

**Paul Kallender**, Keio Research Institute;

**Rikki Kersten**, Australia-Japan Research Centre, Australian National University;

**Yoji Koda**, Vice Admiral Ret., Japan Maritime Self-Defence Force;

**Tsuneo Konishi**, retired from the Justice Ministry of Japan;

**Hideya Kurata**, National Defense Academy (NDA), Japan;

**Dongkeun Lee**, Australian National University;

**Satoshi Machida**, University of Nebraska-Kearney (UNK);

**Mary M. McCarthy**, Drake University in Des Moines, Iowa;

**Dai Mochinaga**, Shibaura Institute of Technology, Tokyo;

**Kousuke Saitou**, Sophia University, Tokyo;

**Tomoyuki Sasaki**, College of William & Mary, Virginia;

**Daiki Shibuichi**, Independent researcher;

**Tomohito Shinoda**, International University of Japan;

**Toshiya Takahashi**, Shoin University, Japan;

**Thomas Wilkins**, University of Sydney.



## <Japan Documents Handbook Series:続刊予定>

### ■2024 年初頭刊行予定

#### スポーツと日本のハンドブック 【2024 年 2 月刊行予定】

Handbook of Sport and Japan

(9784909286222, Helen Macnaughtan and Verity Postlethwaite, SOAS University of London, editors, February 2024)

#### 日本の公共政策と官僚制ハンドブック 【2024 年 2 月刊行予定】

Handbook of Japanese Public Administration and Bureaucracy

(9784909286246, Mieko Nakabayashi, Waseda University and Hideaki Tanaka, Meiji University, editors, February 2024)

#### 日本の環境法・政策・政治ハンドブック 【2024 年 3 月刊行予定】

Handbook of Japan's Environmental Law, Policy, and Politics

(9784909286345, Hiroshi Ohta, Waseda University, editor, March 2024)

### ■2024 年春以降～2025 年予定

#### 日本における災害研究ハンドブック

Handbook of Disaster Studies in Japan

(9784909286307, Paola Cavaliere, Osaka University and Junko Otani, Osaka University, editors, April 2024)

#### 日本のツーリズムハンドブック

Handbook of Japanese Tourism

(9784909286581, Hideto Fujii, Meiji University, editor)

#### 日本を教える:ハンドブック

Teaching Japan: A Handbook

(9784909286468, Gregory Poole, Doshisha University, and Ioannis Gaitanidis, Chiba University, editors)

#### 2010 年代日本の外交ハンドブック

Handbook of Contemporary Japanese Diplomacy: The 2010s

(9784909286321, Tosh Minohara, Kobe University, editor)

#### 日本のフェミニズムハンドブック

Handbook of Japanese Feminisms

(9784909286123, Andrea Germer, Heinrich Heine University and Ulrike Wöhr, Hiroshima City University, editors)

#### 日本のゲームハンドブック

Handbook of Japanese Games and Gaming

(9784909286529, Rachael Hutchinson, University of Delaware, editor)

#### 日本の市民社会ハンドブック

Handbook of Japanese Civil Society

(9784909286604, Simon Avenell, Australian National University, and Akihiro Ogawa, University of Melbourne, editors)

#### 日本の労働慣行ハンドブック

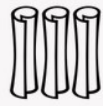
Handbook of Japanese Labor Practices: Changing Perceptions

(9784909286628, Robin Sakamoto, Kyorin University, editor)

#### 日本仏教における女性ハンドブック

Handbook of Women in Japanese Buddhism

(9784909286482, Monika Schrimpf, Eberhard Karls Universität, Tübingen, and Emily Simpson, Harvard University, editors)



Japan  
Documents

**日本における犯罪と刑罰ハンドブック**

Handbook of Crime and Punishment in Japan

(9784909286260, Tom Ellis, University of Portsmouth and Akira Kyo, Kwansei Gakuin University, editors)

**人権と日本ハンドブック**

Handbook of Human Rights and Japan

(9784909286444, Tamara Swenson, Osaka Jogakuin University, editor;)

**日欧関係ハンドブック**

Handbook of Europe-Japan Relations

(9784909286543, Lars Vargö, Institute for Security and Development Policy, Japan Center, editor)

**日本武道ハンドブック**

Handbook of Japanese Martial Arts

(9784909286505, Alexander Bennett, Kansai University, editor)

**日本映画の音響ハンドブック**

The Advent of Sound in Japanese Cinema: A Handbook

(9784909286642, Sean O'Reilly, Akita International University, editor)

**グローバル移民と日本ハンドブック**

Handbook of Global Migration and Japan

(9784909286666, Shinnosuke Takahashi, Victoria University of Wellington and Yasuko Hassall Kobayashi, Ritsumeikan University, editors)

**日本における労働とレジャーハンドブック**

Handbook of Work and Leisure in Japan

(9784909286680, Nana Okura Gagne, The Chinese University of Hong Kong and Isaac Gagne, German Institute of Japanese Studies, editors)

**日本美学ハンドブック**

Handbook of Japanese Aesthetics

(9784909286703, Melinda Landeck, Austin College, editor)

**日本建築ハンドブック**

Handbook of Japanese Architecture

(9784909286710, Ari Seligmann, Monash University, editor)

**現代の日韓関係ハンドブック**

Handbook of Modern Japan-Korea Relations

(9784909286697, Mark Caprio, Rikkyo University, and Robert Winstanley-Chesters, Leeds University)

※以上は予告なく変更される場合がございます。ご了承ください。

**シリーズ継続ご注文承ります!! 詳細は弊社まで**



日本総代理店 **極東書店**

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル

TEL: 03-3265-7531 FAX: 03-3556-3761 <https://www.kyokuto-bk.co.jp> E-mail: [info@kyokuto-bk.co.jp](mailto:info@kyokuto-bk.co.jp)